



## 第4章 子どもの読書活動推進のための方策

第4章では、第3章で示したビジョンや基本方針、重点プロジェクトに従い、家庭・地域・市立図書館・学校等それぞれの機関・場所において行うべき子どもの読書活動推進のための施策の方向を示します。

### 1 家庭における子どもの読書活動推進

子どもの人と交流する機会や実体験の減少、また思考力や想像力の低下などが懸念されています。それに対し、親子・友人関係の形成や思考力・想像力の育成のためにも、家庭での親子のふれあいの重要性が見直されています。幼少時からの家庭での読み聞かせや、一緒に読書を楽しむなど、ふれあいの手段として読書はとても有益です。読み聞かせについて、1歳までに約80%の人が読み聞かせを経験しており（アンケートP4/就学前問2より）、ブックスタート事業の効果もうかがえます。

家庭での読み聞かせや読書活動の重要性について理解を深め、子どもの成長に応じて読書に対する興味や関心を引き出すことができるよう、保護者に対する啓発が課題です。

#### 施策の方向と取り組む事業

【 】内には市や教育委員会が実施主体となって取り組む事業を掲載。日常的な読書活動は含んでいません。

#### 家庭教育に関する学習機会を通じた、保護者に対する読書の重要性の啓発

- ・生涯学習関係部門、子育て関係部門と教育委員会等は連携して、子どもから大人まで生涯を通じた読書活動を推進します。 【つやまっ子読書活動推進事業】
- ・子どもの発達段階に応じた家庭教育講座や、地域における子育て支援のための場や交流活動の機会を提供をします。 【津山市子どもまつり】
- ・子どもが思春期までに自主的な読書の習慣を身につける重要性について、理解を促します。 【つやまっ子家庭教育推進事業】

#### 家庭における読書活動への支援

- ・乳幼児期の子を持つ親に対し、読み聞かせや読書の大切さを啓発し、本にふれる機会を設けるブックスタート事業などを実施します。 【ブックスタート事業】
- ・親子で読みたい本や世代を超えて読み継ぎたい本など、家族のふれあいを深めることのできる「つやまっ子に贈る100冊の本」などの取り組みを推進します。 【津山みんなの課題図書】

つやまっ子読書活動推進事業

津山市子ども読書活動推進計画策定を機に、啓発等を行う一連の事業。

つやまっ子家庭教育推進事業

津山市の家庭教育を充実させるために、生涯学習課と教育委員会で行う一連の事業。

つやまっ子に贈る100冊の本

地域全体で子どもの読書活動を支援するため、子どもに読んでほしい100冊のリストを作成・配布、啓発する事業。

津山みんなの課題図書

家族や地域で読書を通じたふれあいを深めるため、課題図書を決めて読書に取り組み、感動を共有する事業。